

おすすめ講座・講演会



※新型コロナウイルスの感染状況により開催内容が変更になる場合もあります。

令和4年度男女共同参画啓発講座

ムーブ映画祭

樋口 智巳さん(小倉昭和館 館主)と 尾 恵美さん(松永文庫 学芸員)によるトークイベントも同時開催

上映作品 『妻への家路』 (2014年・中国) ※日本語字幕・吹替なし

12月3日(土) 13:00~15:40 入場無料

- 会場 ムーブ 2階 ホール
- 定員 250名(申込多数の場合は抽選)
- 申込方法 電話、ムーブホームページにて受付
- 申込締切 11月18日(金)
- 託児 有(6ヵ月~就学前のお子さん) 1人500円 ※要予約



▲申込フォーム

お申込み・お問い合わせ 事業課 TEL: 093-288-6262

私の記憶をなくした妻は、今日も隣で私を待ち続ける一。



©2014, Le Vision Pictures Co., Ltd. All Rights Reserved

舞台は中国、文化大革命の荒波に翻弄されながらも必死に生きる一組の家族。

2022年北京冬季五輪・パラリンピックの開閉会式の総監督を務めたことでも記憶に新しい、中国の巨匠張芸謀監督が紡ぐ、この世で最も切なく最も高貴な「愛」の物語。

義務教育初の民間校長

藤原 和博さん講演会

北九州イクボス同盟 共催

「コロナを転機に! たった一度の人生を変える勉強をしよう」

11月5日(土) 13:30~15:00 入場無料

- 会場 ムーブ 2階 ホール
- 定員 250名(申込多数の場合は抽選)
- 申込方法 ムーブホームページ、電話、FAX、ハガキにて受付
- 申込締切 10月4日(火)必着
- 託児 有(6ヵ月~就学前のお子さん) 1人500円 ※要予約

お申込み・お問い合わせ 事業課 TEL: 093-288-6262 FAX: 093-583-5107



元リクルート社フェロー 和田中学校 一条高校 元校長

Profile

1955年東京生まれ。78年東京大学卒業後、(株)リクルート入社。新規事業担当部長などを歴任後、93年よりヨーロッパ駐在、96年同社フェローとなる。2003年より5年間、都内では義務教育初の民間校長として杉並区立和田中学校校長を務める。08~11年橋下大阪府知事特別顧問。16年から2年間奈良市立一条高校校長としてスマホを授業に活用。アクティブラーニングの手法となった「よのなか科」が『ベネッセ賞』、『地域本部(現在は地域学校協働本部)』が『博報賞』、食育と読書活動が『文部科学大臣賞』をダブル受賞し一挙四冠に。本業は教育改革。「正解主義・前例主義・物忘れ主義」を排し新しい仕組みづくりに奔走。「よのなか科」が手本となっているアクティブラーニングやマネジメントを教える校長先生たちの校長としての役割も担う。現在は、幼稚園/こども園改革を模索中。

介護男子 いざとなったらどうする?

~突然やってくる前に、男性同士で介護を一緒に考える講座~

- 日時 10月15日(土)、10月30日(日)、11月19日(土)[全3回] 10:00~13:00
- 定員 15名(申込多数の場合は抽選) 参加無料
- 対象 介護に関心のある男性
- 申込方法 電話、FAX、ムーブホームページにて受付
- 申込締切 10月3日(月) ※締切後も定員に達するまで募集していますので、お問合せください。

お申込み・お問い合わせ

事業課 TEL: 093-288-6262 FAX: 093-583-5107

超高齢社会を迎え、今、妻や親など家族の介護を担う男性が増えています。介護と同時に家事も行わなければならないため、不慣れなことも多く、肉体的・精神的な負担は少なくありません。介護でのストレスを少しでも減らせるように、この講座で介護の基本を学び、仲間をつくりませんか?

- 10月15日(土) 社会資源・家族の連携
- 10月30日(日) 環境づくり・福祉用具の上手な活用
- 11月19日(土) 認知症サポーター研修、意見交換会



介護のことを事前に学び、仲間もつくりませんか?



第4回

北九州地域のさまざまな分野でご活躍中の皆さまをエッセイでご紹介します。

リレーエッセイ ムーブと私

始まりはすべて小さい



北九州国際交流団体ネットワーク 会長

はっとり ゆみこ 服部 祐充子さん

Profile

元ヤマハ音楽教室講師。2006年には「地球交遊クラブ」、2015年にはドキュメンタリー映画上映団体「東田シネマ」「旅するシネマ&カフェ」を有志と共に設立。国際交流やフェアトレードを含むエシカルライフスタイルの提案、持続可能な開発のための教育(ESD)などを推進している。

2006年の夏。2000人の会場が満席になるほどの熱気の中、立ち見で聴いたのが「地球のステージ」の公演でした。東ティモールのストリートチルドレンの少年やパレスチナのガザへの空爆、世界の難民キャンプやスラム、震災の被災地で生きる人々の姿に、言葉にならない衝撃を受けました。同団体代表理事であり医師の桑山紀彦さんの活動との出会いが、その後のすべての始まりだとは夢にも思わず、音楽と映像と語りで伝えられる世界の紛争地・被災地の人々の姿に、自分の視野の狭さ、知識や情報の足りなさ、偏りを突き付けられました。

それまでの私は音楽教室でエレクトーンの先生をし、結婚後は介護と子育て中心の生活を送っていました。

2006年夏の出会いがきっかけとなり、子育ての傍ら、二人の娘たちと共に続けていた留学生の日本語・生活支援のボラ

ンティア活動から、学生たちとJICA事業で来日した中国やベトナムからの高校生のホームステイ先を手配したりアテンドするなど、活動が広がりました。

ムーブとのご縁では、ジェンダー問題 調査・研究支援事業の報告会や、(公財)アジア女性交流・研究フォーラム主催のアジア女性会議、JICA行政官のためのジェンダー主流化政策研修の報告会などを通じて多彩な学びや経験となり、後に市民活動を共に担う仲間や協力者との出会いも得ました。

「地球のステージ」との出会いにより、国際理解教育や多文化共生の実現が私のライフワークとなり、後に振り返ると、ここがまさに人生の転換点でした。

「始まりはすべて小さい」*折々にこの言葉が浮かびます。小さな市民の「小さな始まり」が、次世代の夢と学びの道筋になるよう、希望を込めた活動を続けていけたらと思います。

※マルクス・トゥッリス・キケロという共和政ローマ末期の弁護士、文筆家、哲学者の言葉

内閣府 女性に対する暴力をなくす運動

11月12日(土)~25日(金)

女性への暴力ゼロ運動 特別講座

若年女性の今(リアル)~夜の公園に居場所を求めて~

夜回り活動や相談事業などを行っている講師から若年女性の実情を、警察の方から女性を狙う加害者の手口などのお話をさせていただきます。

参加無料

11月26日(土) 13:30~16:00

- 会場 ムーブ 5階 小セミナールーム
- 定員 30名(先着順) ■ 対象 関心のある方ならどなたでも
- 託児 有(6ヵ月~就学前のお子さん) 1人500円 ※要予約
- 申込方法 電話、FAX、ムーブホームページにて10月4日(火)から受付

お申込み・お問い合わせ 相談室 TEL/FAX: 093-583-5197

女性への暴力ゼロ!ホットライン

(女性への暴力ゼロ!ホットライン)

11月16日(水) 10:00~16:00

弁護士が、女性への暴力に関する相談を電話でお受けします。当日、お電話ください。

093-280-5325
093-591-9408



【講師】
筑紫女学園大学 准教授
(一社)SWOF 代表
おおにし りょう
大西 良さん



LINE相談 開設しました! 期間限定 令和4年9月2日(金)~11月30日(水)

心と生き方や親子関係、人付き合い、DV、コロナ禍での生活の不安等、悩みを気軽に相談してみませんか?



お友達登録は
こちらから

おっさんの掟

「大阪のおばちゃん」が見た日本ラグビー協会「失敗の本質」

「孤立無援」「孤軍奮闘」「つねに蚊帳の外」。これらは日本ラグビー協会の理事として著者が置かれた状況を表す言葉である。本書は、2019年に日本でラグビーワールドカップが開催され、2022年に国内の新リーグが開幕するまでの間に、著者が「ラグビー村」の「掟」に抗い「わきまえない女」として闘い続けてきたことをつまびらかにするノンフィクションである。

巻頭には、川淵三郎氏(元サッカー日本代表)と著者の対談が掲載されている。川淵氏は、ラグビー界を「他のスポーツと比べても突出した『男社会』」であると表現し、両氏は、組織の変革ではなく現状維持を望んだラグビー協会が抱える閉鎖性を、スポーツ界全体、ひいては日本社会全体の問題でもあると指摘する。続く本編には、理事就任に至る経緯や“シャンシャン理事会”で驚いたこと、そして、改革をけん引していた清宮克幸氏(元ラグビー選手)の失脚などが軽快に綴られている。特に、新聞や週刊誌でも報道された新リーグの「チーム審査」にまつわるエピソードからは、男性中心組織の中でマイノリティとして経験する居心地の悪さや憤りが強く伝わってくる。

まとめでは、「失敗の本質」「タテ社会」「心理的安全性」などのキーワードで自身に起きた出来事を振り返りながら、「令和のおっさん」を定義している。本書には、次世代に同じ経験を引き継いでほしくないという強い意志がある。読後は、それぞれが自分の置かれた場所について考え直すきっかけになるだろう。

甲南大学 文学部 社会学科 講師 ^{せき} 関 ^{めぐみ} めぐみさん



- 谷口 真由美 著
- 小学館
- 2022年初版
- 860円(税別)

わ きまえない女

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会では会長を務めていた森喜朗氏は、2021年2月3日に開かれた同評議員会においてラグビー協会の女性理事の話を出しながら、「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」「(組織委員会の女性)はわきまえておられる」という趣旨の発言をした。この女性蔑視発言への怒りや抗議の声が、#わきまえない女というハッシュタグとともにツイッター上で広まり、多くの共感を呼んだ。

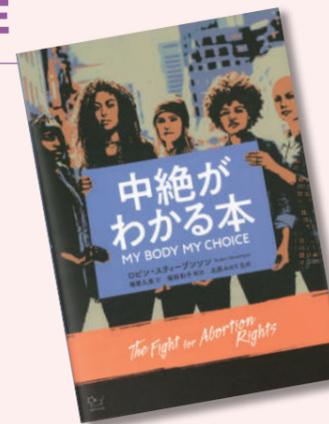
中絶がわかる本 MY BODY MY CHOICE

本書は、安全で合法的な中絶を受ける権利の獲得を目指して奮闘している世界の人々の活動を平易に解説する、この問題に関する最良の入門書である。本書の最大の魅力は、ふんだんに用いられた写真や挿絵、マンガによって、中絶の歴史や当事者たちの経験が手に取るようにわかるだけでなく、エンパワーメントを実感できることにある。

第1章では、北米を中心に中絶の犯罪化と違法中絶の時代を振り返り、その後の変革を求める活動が説明される。第2章では、聖職者、医師、女性たちの運動に焦点を合わせ、中絶の合法化の過程が描写される。第3章では、合法化以降の中絶に対する攻撃が、中絶を擁護する人々の視点から描かれる。第4章では、世界の女性たちによる安全な中絶を求める闘いが紹介される。第5章では、中絶の権利を求める闘いの最前線で奮闘する、活動家からのメッセージが力強く語られる。

本書は、若い女性に読んでほしい。中絶は決して揺るぎない権利ではない。政治や社会の都合で、いつでも違法とされる道が開かれていることを学んでほしい。本書は、年齢を重ねた女性に読んでほしい。過去の自分の体験を次世代の若者に語ることの大切さに思いを巡らしてほしい。本書は、男性に読んでほしい。パートナーとして何ができるのか、自分の問題として考えるきっかけとしてほしい。本書は、みんなに読んでほしい。国内だけでなく世界の問題に目を向けて、想像力を働かせてほしい。今度はあなたが語り手となる番である。

拓殖大学 政経学部 教授 ^{こたけ さとし} 小竹 ^聡 聡さん



- ロビン・スティーブソン 著
- 塚原 久美 訳
- 福田 和子 解説
- 北原 みのり 監修
- アジマブックス
- 2022年初版
- 2,500円(税別)

ア メリカにおける中絶の権利の現在

1973年のロウ対ウェイド判決によって、中絶の選択は合衆国憲法に根拠づけられた憲法上の権利であるとされたが、2022年6月24日、合衆国最高裁判所は、「ロウは最初から甚だしく間違っていた」として、合衆国憲法は中絶に対する権利を保障していないと判断した。これにより、今後は、中絶に対する規制が合衆国憲法の制約をほとんど受けることなく各州に委ねられることになった。

失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック

先日、テレビの情報番組で「美人すぎる市議の女」というテロップを見て驚いた。まだこんな見出しをつけているのか!?!と。「美人と褒めているのになぜダメなの?」と思った方はすぐに本書を手にとってほしい。番組が取り上げたのは大阪府寝屋川市議らが詐欺容疑で逮捕された事件で、市議の容姿や性別は事件とは無関係。「美人」という見出しで視聴者の興味を引きつけたのだから。同じ容疑で男性市議が逮捕されたらどんな見出しがつけられるだろう?

本書は現役の記者たちが「ジェンダー平等を実現するにはメディアが発信する記事から見直さなければならない」との危機感から出版した。男女雇用機会均等法施行から30年以上たち、女性記者比率は23.5%(2021年、日本新聞協会)まで増えたものの、メディア業界はいまだ男性社会。冒頭紹介した「美人すぎる」のような性の商品化、「女医」「ママさん社長」など過剰な性別表示、性別役割分担などの表現が残っており、偏見を生んでいる。これらの表現がなぜ不適切なのか、どう改善したらいいのかという手引書として本書は作られた。

新聞、テレビだけでなくウェブメディアの表現や性暴力報道の現状と課題などにも言及しており、メディア業界だけでなく企業や行政関係者、SNSを利用する個人にも参考になる。単なる「ジェンダー表現で炎上しないための」参考書としてではなく、偏見のないジェンダー平等社会を実現するためのバイブルとして活用してほしい。

西日本新聞社 執行役員 北九州本社代表 ^{かつき まさこ} 甲木 ^{正子} 正子さん



- 新聞労連 ジェンダー表現ガイドブック 編集チーム 著
- 小学館
- 2022年初版
- 1,500円(税別)

無 意識の偏見

「女性ならではの繊細さ」「男のくせに泣くな」は意図的に差別したのではなく、無意識の偏見(アンコンシャス・バイアスとも言う)から発せられる言葉だ。悪気は無くとも言われた側は傷ついたり、つらい思いをしたりする。本書第3章では性暴力を伝える現場での「無意識が生む二次被害」にも触れており、研究者へのインタビューやデータに基づく解説はメディアで働く人間としても非常に勉強になった。

フレンテみえの絵本 みっちときりー

九州大学 名誉教授 ^{たにくち ひでこ} 谷口 ^{秀子} 秀子さん

本書は、性別にかかわらず自分らしく生きることの重要性を、オスのミツバチの物語を通してわかりやすく描いた啓発的な絵本である。花が大好きなオスのミツバチのみっちは、オスのカマキリのきりーに、「おとこのこなのにおはなが すきなのか? おんなのこ みたいだなー」と言われて衝撃を受ける。みっちは、花の蜜を集めることをやめ、無理して「男の子らしく」振る舞おうとするものの、「みっちじゃない みたい」というテントウムシの指摘に、花が大好きな自分を再認識し、「おとこのこらしく おんなのこらしく なんて、もう きにしらない。ぼくは ぼくらしく いれば いんだよね」と、性別に関する世間の決めつけに縛られず、自分らしくいることが大事であり心地良いことに気づく。

このように、本書は「花が好きなのは女の子である」というジェンダー・ステレオタイプの押しつけを跳ね返すみっちの姿を通して、ジェンダーにとらわれずに自由な選択をすることの大切さを訴えるとともに、みっちときりーのその後の交流を通して、個々の違いを理解し多様性を尊重する共生社



- フレンテみえ・KYO 文、KYO 絵
- (公財)三重県文化振興事業団 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」発行
- 2022年
- 非売品(ムーブで貸出をしています。)

※この本は、フレンテみえWEBサイトで「デジタルブック」としても無料公開されています。

会のイメージをも発信している。近年の子ども向けの作品において「女らしさ」や性別役割から自由な女性像が珍しくなくなってきた一方で、ジェンダーにとらわれない男性像を肯定的に描いた子ども向けの作品はまだ少ない。その一因としては、いまだに、ジェンダーを「社会的弱者である」女性だけの問題と捉える傾向が散見され、社会的に優位な性としての男性が抱えるジェンダーの問題については、あまり重要視されてこなかったことが考えられる。その意味でも、「男の子らしさ」ではなく自分らしさを大切にするオスのミツバチを主人公にした『みっちときりー』の出版は、大いに意義があるといえよう。



コロナ禍における女性の不安や悩みに寄り添います (困難を抱える女性に寄り添う緊急支援事業)



詳細は北九州市
ホームページまで

市では、コロナ禍で孤独や孤立で不安を抱える女性が社会とのつながりを持てるよう、NPO等の団体と連携した、きめの細かい寄り添った支援を行っています。

来年3月15日(水)まで、市内3か所所で相談や生理用品の提供等を無料で実施していますので、お気軽にご相談ください。

実施エリア (エリア外の方も利用可)	主な取り組み	実施事業者	連絡先
門司区・小倉北区・ 小倉南区	●電話相談(必要に応じ面談・市内出張相談も可) ●おしゃべり女子会 ●生理用品の提供	(社福)グリーンコープ	871-8824(9:30~17:30)
八幡東区・戸畑区	●相談 ●生理用品の提供	(特非)フードバンク 北九州ライフアゲイン	672-5347/080-3439-5350 (月・水・金曜日10:00~16:00)
八幡西区・若松区	●相談 ●同行支援 ●生理用品の提供	(特非)あそびとまなび研究所	070-5495-6543

窓口で生理用品を 提供しています

市では、経済的な理由で生理用品が購入できない「生理の貧困」の問題や新型コロナウイルス感染症の影響により困難な状況にある女性への対応として、今年度、生理用品の提供を実施しています。

男女共同参画センター・ムーブ3階窓口、または各区役所保健福祉課にお申し出ください。

お問い合わせ 北九州市総務局男女共同参画推進課 TEL: 093-582-2405

男女共同参画啓発事業「未来をひらくあなたに」

高校生によるジェンダー問題探究学習 成果発表会

11月12日(土) 13:00~15:40 参加無料

ムーブでは、若者世代に向けて、ジェンダー問題を知ってもらうための冊子を令和3年3月に発行しました。本冊子を用いて、7月16日にキックオフイベントを開催し、7月下旬~10月には市内4校の高校生が、ジェンダー問題について探究的に学習を行っています。



キックオフイベントの様子(7月16日)

11月に開催する成果発表会では、アンコンシャス・バイアスや指導的地位における女性の割合、セクシュアリティなどに関する課題解決のため、高校生にできるアクションや提言を発表し、複数の講師にご講評いただきます。

- 会場 北九州市立大学北方キャンパス 1号館101教室
- 定員 50名(申込多数の場合は抽選)
- 申込締切 10月30日(日)

お申込み・お問い合わせ 情報課 TEL/FAX: 093-583-5082
ムーブホームページ、電話、FAXにて受付



【講師】尚絅大学 短期大学部
講師
よしむら ちえ
吉村 千恵さん



ムーブ公式インスタグラム開設しました!

特に若者に知ってほしい、男女共同参画に関する情報やジェンダー関連用語、また参加してほしいムーブ主催イベントの発信を行っています。ぜひフォローをお願いします。



北九州市立
男女共同参画センター

ムーブ

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL: 093-583-3939 FAX: 093-583-5107
E-mail: move@move-kitakyu.jp
HP: https://www.kitakyu-move.jp/

公益社団法人
アジア女性交流・研究フォーラム
KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN

北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者



ムーブHP



Facebook



アクセス	アクセス
●JR西小倉駅から徒歩15分	
●西鉄バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車	
【小倉バスセンターから】	27 36 45 110 138
【小倉駅入口から】	150 170 175 197
【天神バスセンターから】	西鉄高速バス いとう号
●北九州都市高速 勝山ランプ・大手町ランプ出口から約3分	
地下駐車場 100台収容(車高制限は2.1m)	
30分ごとに100円 8:15~22:15(入庫は22:00まで)	

ムーブのFacebook・Instagramでイベント案内をはじめ、いろいろな情報を発信しています。